

写

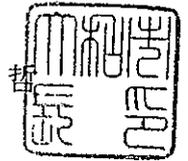
大和市協働推進会議 会長 殿

令和3年度協働事業等提案について（諮問）

このことについて、別添の令和3年度協働事業等提案について、貴会議
の意見を求めます。

令和3年5月31日

大和市長 大 木



～ 目 次 ～

	申請事業名	種類	協働事業者／市の事業担当課	ページ
1	ふれあいの森ドッグラン運営管理	市民 提案型	結の会 ／みどり公園課	1
2	地域で支え合う 「のりあい」を走らせよう	市民 提案型	地域と市との協働「のりあい」 ／街づくり総務課	10
3	生活に役立つ日本語の読み書き を学ぶ「つるま読み書きの部屋」	市民 提案型	NPO 法人かながわ難民定住援助協会 ／国際・男女共同参画課	21
4	地域と学校の連携による大和市立 渋谷中学校学校開放事業	市民 提案型	渋谷きんりん未来の会 ／図書・学び交流課	31
5	移動制約者の外出介助サービス 事業	市民 提案型	NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ ケアびーくる ／障がい福祉課	42
6	障がい者・高齢者のための 「外出介助サービス」事業	市民 提案型	NPO 法人大和市腎友会 ／障がい福祉課	52
7	NPO 法人たんぼぼ 福祉有償運送	市民 提案型	NPO 法人たんぼぼ ／障がい福祉課	61
8	みんなでつくろう安心のまち事業	行政 提案型	大和女性防犯会 ／生活あんしん課	70

第4号様式



令和3年 4月 17日

令和3年度協働事業提案申請書

大和市長 あて

申請者 団体名 結の会

代表者の職名・氏名 会長 村岡信弘

住 所 [Redacted]

連絡先 [Redacted]

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	ふれあいの森ドッグラン運営管理
申請種別 (どちらかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型

※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
(ご了承いただいた場合は、□にチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 <input type="checkbox"/> 団体の名簿(会長他役員10名、会員884組) <input checked="" type="checkbox"/> 活動実績書類(※) (定期総会資料) <input type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	---

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



市民提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	結の会
事業名称	ふれあいの森ドッグラン管理運営
協働したい担当課	みどり公園課

解決したい課題	犬をノーリードで、飼い主と伸び伸びと遊ばせる場所を管理運営する事により、主に大和市民の福利厚生に資する場を提供してゆく事。
事業の目的	犬のしつけとマナーの向上及び、犬と人との触れ合いを通して会員相互の親睦を図り、ドッグランの運営を介して地域社会に貢献すること。
事業の内容	会員登録説明会の企画運営（グリーンアップセンターにて3か月毎） 毎月第3日曜日に犬同伴の公園清掃（夏季7・8月を除く） ドッグランの運営及びイベント企画
事業実施で得られる成果	関係機関との連絡調整が円滑となり、PRにおいても多くの方に知っていただく事ができ、地域との連携も深まることから、より開かれたドッグランの運営管理を行う事が出来ると思います。 また人と犬と一緒に運動する事により、市民のと飼い犬との健康に良い影響があります

令和4年度 事業予算	215,000 円(希望市負担金額 0 円)
役割分担	【応募者】 結の会会員 ドッグラン維持運営管理 ふれあいの森公園広場の定期清掃 新規登録者説明会および登録更新会の開催
	【市の事業担当課】 市側の予算管理 新規登録会に関する広報誌への記載等
市との協働の 必要性	県内の他同様施設と比較しても広大な敷地となっております。 これだけの敷地を用意するのは同好会レベルの者では無理なため、 防衛省から土地をお借りしている市役所さんとの協働は必須です。
協力団体	無し
その他	

◆スケジュール

【令和4年度】

実施月	実施内容
6, 9, 12, 翌3	新規登録会および更新登録会
7~8 以外の各月	ふれあいの森広場定期清掃
主に夏場	場内整備(草刈り)

【令和5年度】

実施月	実施内容
6, 9, 12, 翌3	新規登録会および更新登録会
7~8 以外の各月	ふれあいの森広場定期清掃
主に夏場	場内整備(草刈り)

【令和6年度】

実施月	実施内容
6, 9, 12, 翌3	新規登録会および更新登録会
7~8 以外の各月	ふれあいの森広場定期清掃
主に夏場	場内整備(草刈り)

◆収支予算書 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

【令和4年度】

収入の部

費目	金額(円)	内訳
交付金	40,000	公園愛護会
新規登録費(市内)	55,000	80名 + 30頭 (@500)
新規登録費(市外)	30,000	15名 + 15頭 (@1,000)
更新登録費(市内)	30,000	30名 + 30頭 (@500)
更新登録費(市外)	60,000	30名 + 30頭 (@1,000)
収入合計	215,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
場内整備費	90,000	草刈機・場内整備諸費用
通信費	50,000	ドメイン料及送料等
事務費	75,000	運営諸経費・ペテルギウス室料
支出合計	215,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和5年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
交付金	40,000	公園愛護会
新規登録費(市内)	55,000	80名 + 30頭 (@500)
新規登録費(市外)	30,000	15名 + 15頭 (@1,000)
更新登録費(市内)	30,000	30名 + 30頭 (@500)
更新登録費(市外)	60,000	30名 + 30頭 (@1,000)
収入合計	215,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
場内整備費	90,000	草刈機・場内整備諸費用
通信費	50,000	ドメイン料及送料等
事務費	75,000	運営諸経費・ペテルギウス室料
支出合計	215,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和6年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費 目	金 額(円)	内 訳
交付金	40,000	公園愛護会
新規登録費(市内)	55,000	80名 + 30頭 (@500)
新規登録費(市外)	30,000	15名 + 15頭 (@1,000)
更新登録費(市内)	30,000	30名 + 30頭 (@500)
更新登録費(市外)	60,000	30名 + 30頭 (@1,000)
収入合計	215,000	

支出の部

費 目	金 額(円)	内 訳
場内整備費	90,000	草刈機・場内整備諸費用
通信費	50,000	ドメイン料及送料等
事務費	75,000	運営諸経費・ベテルギウス室料
支出合計	215,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

自己紹介シート

<p>団体の名称等</p>	<p>結の会 【代表者の職名・氏名】会長 村岡信弘</p>
<p>団体の住所</p>	<p>〒 [REDACTED]</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>連絡担当者 及び連絡先</p>	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>ホームページ</p>	<p>http:// www. f-dogrun. jp/wordpress/</p>
<p>設立年月</p>	<p>平成 18 年 6 月 (法人格取得時期 平成 年 月)</p>
<p>設立の目的・ 経緯</p>	<p>平成 18 年 6 月に水と緑課の行政提案により「ドッグラン設置事業」として発足。 ドッグランの完成より平成 22 年度から市民提案による「ドッグラン管理運営事業」になり現在に至る。 犬のしつけとマナーの向上及び犬と人とのふれあいを通じて会員相互の親睦を図り、ドッグランの運営を介して地域社会に貢献する事を目的とする。</p>

主な活動地域	<input checked="" type="checkbox"/> 大和市内を中心に活動 <input type="checkbox"/> 市外を中心に活動 (活動地域：)			
活動内容と活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ● ふれあいの森ドッグラン管理運営 ● ドッグランの登録説明会の開催(3か月毎) ● 犬連れでのふれあいの森広場の定期清掃活動 ● 令和3年4月1日現在までの登録会員は884組(1家庭毎に番号を採番) 			
会員数884.....組			
過去に助成を受けた実績	支給団体名	年月	金額	内容
	大和市	2020年6月	40,000円	公園愛護会交付金
	大和市	2019年6月	40,000円	公園愛護会交付金
	大和市	2018年6月	40,000円	公園愛護会交付金
	大和市	2017年6月	40,000円	公園愛護会交付金
	大和市	2016年6月	40,000円	公園愛護会交付金
協働事業の実績 ※継続事業の場合のみ記載	市担当課名	年～年	負担金	内容
	みどり公園課	2020年4月～ 2021年3月	778,109円	協働事業負担金
	みどり公園課	2019年4月～ 2020年3月	904,517円	協働事業負担金
	みどり公園課	2018年4月～ 2019年3月	889,395円	協働事業負担金
	みどり公園課	2017年4月～ 2018年3月	919,744円	協働事業負担金
	みどり公園課	2016年4月～ 2017年3月	856,449円	協働事業負担金



第4号様式

令和3年4月17日

令和3年度協働事業提案申請書

大和市長 あて

申請者 団体名 地域と市との協働「のりあい」

代表者の職名・氏名 代表 滝沢 誠

住 所

連絡先

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	地域で支え合う「のりあい」を走らせよう
申請種別 (どちらかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型

※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
(ご了承いただいた場合は、□にチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 <input type="checkbox"/> 団体の名簿 <input type="checkbox"/> 活動実績書類 (※) (毎月発行「のりあい」ニュース、会則、規附則、組織図等) <input type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	--

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



第1号様式

令和3年4月17日

市民提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	地域と市との協働「のりあい」
事業名称	地域で支え合う「のりあい」を走らせよう
協働したい担当課	街づくり総務課 街づくり調査係

解決したい課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の利用者ニーズに沿った、外出の足としての利用と、地域ののりものならでの、地域内で人々の交流、生活サポート面も含めた総合的な生活の足の確保。 ・年齢による変化等、いち早く把握できる面があり、専門的な観点から、早期に問題の解決が可能となる連携を、これまで以上に図る。
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・運転、運行管理部分を交通事業者に市からの業務委託となったが、地域主体で生み出した地域交通として、運行地域の特性特色ある、新たな地域生活交通「のりあい」を創り出していく。 ・委託事業の市、運行管理事業者と「のりあい」地域との連携、協力関係を高め、地域の良好なコミュニケーションを育み、住民が協力し、支え合う気持ちを大切にする住み心地良い地域づくりにつなげる。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○バス事業者との協力 ・添乗者による利用者へのサポートを必要に応じて行う。(安心、安全) ○地域での協力 ・バス停の維持・管理 ・バス停の設置個所の検討、地権者との交渉等 ・遅延の際の情報を市、事業者と共有し、地域に周知(掲示、立会等) ・運行に関する地域の声の集約及び運行への反映 ○のりあいニュースの発行(月1回) ・自治会での配布協力により、一定の関心、協力を得る基盤づくり ○地域交流会の開催(年1回) ○地域での楽しみ・集まりの場との連動、参加が可能であれば、協力し、地域との連帯をより高める。

<p>事業実施で 得られる成果</p>	<p>★協働事業11年の継続から見えてきた成果の継続 <特に高齢者、身体的弱者等の利用状況から></p> <p>①外出の頻度が上がり、心身共に、健康の維持増進につながっていることが実感できている。今後も、添乗の取組の中で、培っていく。</p> <p>②「のりあい」ルート、近隣の人々との交流により、新たな地域コミュニティが生まれ、行政、医療等の情報を得、具体的な利用につながっている。</p> <p>③車内での会話により、日常生活の張り、関心、意欲が伺える。</p> <p>④外出の保障は、健康長寿の一翼を担うこととなる。</p> <p>⑤帰路が分からなくなった方の早期発見・帰宅、外出中の不測の事態に、地域・のりあい内情報・人々のつながりにより、早期解決の役割を果たす。</p> <p>⑥妊婦さんや乳幼児連れの家族と、高齢の方々との交流が車内を明るくし、また、生活の知恵を得る場所になっていく。</p> <p>⑦外国籍の方の利用もあり、継続的な利用が、違和感なく地域に馴染む働きとなり、安心できる地域づくりにつながる。</p> <p>⑧地域を越えて、親しい友達ができ、日々が楽しくなった方々が増えている。</p> <p>★新型コロナ禍の状況により、外出支援のサポートは、令和3年以降も、その時に可能な範囲での活動を創意工夫し、地域コミュニケーションの関りと、運行ルートを中心とした清掃活動等、日々実施し、地域内での日々の交流を育てていく。(新型コロナ感染には、十分な配慮を、今後も実施していく。)</p> <p>⑨地域9自治会と連携し、地域コミュニティの活性化・向上に寄与できている。</p>
<p>令和4年度 事業予算</p>	<p>1,150,000円(希望市負担金額 800,000円)</p>
<p>役割分担</p>	<p>【応募者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協働事業の目的に沿った「のりあい」事業の運営への協力・上記事業内容に沿った活動 ○地域コミュニティの活性化ための取組み ・利用者と地域とのつながりを維持、新たな地域での参加の場の案内 ○添乗の新たな参加を募る

	<p>【市の事業担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のりあいの運行に関すること ・協働事業者の協力（活動）に対する支援 ・関係機関との連絡調整
市との協働の必要性	<p>本事業のような、地域レベルで小規模な需要に対応する地域交通の必要性は今後も高まることが予測され、移動性の向上により市民の外出意欲を高めていくことは市の総合交通施策とも合致します。</p> <p>単に移動手段を確保するだけではなく、市とバス事業者及び地域が連携・協力して、より安心できる移動サービスを提供し、コミュニティの醸成にもつながる取り組みを実施する本事業の意義は大きいと考えます。</p>
協力団体	<ul style="list-style-type: none"> ・かながわ福祉移動サービスネットワーク、 （全国福祉移動サービスネットワーク） ・民生委員児童委員協議会 ・地域包括支援センター
その他	<p>「のりあい」は、地域生活交通として公共事業の一部であり、住民自治を育むことは、市と共に、多様な交通の有り様を協働の中で見つけていくことにつながると考えます。運行部分が、事業委託として、サービス事業との形で進められている交通のあり方としても、運行関係者として、利用者でもある市民が事業者と共に同じテーブルで話し合える将来への展望のためにも、市との協働が大事ではないかと考えます。</p>

◆スケジュール

【令和4年度】

実施月	実施内容
年間	・バス事業者で365日運行実施の内、最大で235日の添乗乗車で参画する。(現状の基本を継続とする。状況による変更も臨機応変に対応、工夫した取り組みを行う。(新型コロナ禍での利用者への見守り・見送り等のように。)
毎月	・利用者動向をバス事業者と協力してこれまで同様に記録分析等、実施する。 ・定例会議:三者連絡調整会議・役員、事務担当連絡会等 ・地域の集い(状況により、検討) ・「のりあい」ニュースの発行
4月下旬	・実績報告会
5月下旬	・地域交流会
7~8月	・地域の夏祭りに参加(自治会、住民との交流)
随時	・地域ミニ報告交流会、地域福祉団体との交流会等 ・添乗者研修

【令和5年度】

実施月	実施内容
前年同様	前年とほぼ同じ内容の実施

【令和6年度】

実施月	実施内容
前年同様	前年とほぼ同じ内容の実施

◆収支予算書 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

【令和4年度】

収入の部

費目	金額(円)	内訳
繰越金	80,000	
基礎支援金	240,000	自治会会費 9自治会 (120円/2000世帯)
市負担金	800,000	市協働事業負担金
寄付金	30,000	地域交流会・個人
収入合計	1,150,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
運営活動費	140,000	事務・会計・広報通信費
地域活動費	8,000,000	のりあい環境整備、添乗活動支援 (12便/日)
福祉サービス総合補償	16,000	福祉サービス総合補償、のりあい活動
企画費	40,000	交流会、お楽しみ、自主企画
事務経費	80,000	会場費、通信費、消耗品費等
繰越金	74,000	
支出合計	1,150,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。
 ※行が不足する場合は追加してください。

【令和5年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
繰越金	74,000	前年度繰越金
基礎支援金	240,000	自治会会費 9自治会 (120円/2000世帯)
市負担金	800,000	市協働事業負担金
寄付金	30,000	地域交流会・個人
収入合計	1,144,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
運営活動費	140,000	事務・会計・広報通信費
地域活動費	8,000,000	のりあい環境整備、添乗活動支援
福祉サービス総合補償	16,000	福祉サービス総合補償、のりあい活動
企画費	30,000	交流会、お楽しみ、自主企画
事務経費	80,000	会場費、通信費、消耗品費等
繰越金	78,000	
支出合計	1,144,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和6年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
繰越金	78,000	前年度繰越金
基礎支援金	240,000	自治会会費 9自治会 (120円/2000世帯)
市負担金	800,000	市協働事業負担金
寄付金	30,000	
収入合計	1,148,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
運営活動費	140,000	事務・会計・広報通信費
地域活動費	8,000,000	のりあい環境整備、添乗活動支援
福祉サービス総合補償	16,000	福祉サービス総合補償、のりあい活動
企画費	30,000	交流会、お楽しみ、自主企画
事務経費	80,000	会場費、通信費、消耗品費等
繰越金	82,000	
支出合計	1,148,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

自己紹介シート

<p>団体の名称等</p>	<p>地域と市との協働「のりあい」 【代表者の職名・^{ふりがな}氏名】 代表 ^と滝澤 ^{まこと}誠</p>
<p>団体の住所</p>	
<p>連絡担当者 及び連絡先</p>	
<p>ホームページ</p>	<p>http://</p>
<p>設立年月</p>	<p>平成 20 年 10 月（法人格取得時期 平成 年 月）</p>
<p>設立の目的・経緯</p>	<p>平成20年10月に外出が不便との長年の地域の方々の思いから、「乗合バス運行準備会」として、地域交通を何とか自分たちで確保しようと動き始めました。 自主的に関わって下さった職員の方から、協働事業を教えていただき、平成21年に、市民提案型として協働事業に申請。 レンタカーで試運行をし、市から10人乗りワゴン車を1台借受け、8月には、「のりあい」表示のリース車となり、「のりあい運行委員会」として、自家用無償運送の位置づけで、平日午前午後各5便ずつの運行を開始。（平成24年4月現在の組織に改組） 外出を支援することで、高齢者が元気になり、乳幼児連れの親も、安心して出かけることができ、車内の人のつながりから、地</p>

	<p>域のコミュニケーションづくりへと、いきいきとした地域づくり、地域自治の一端となればと活動し始めました。</p> <p>多様な地域公共交通の創出を目指し、添乗乗車の地域乗物として運行するも、運転士の高齢化に伴い、存続の在り様を模索する。</p> <p>その中で、運行の継続を重視し、協働事業での役割として、市から相鉄バス株式会社に運転部分を委託し、これまで同様、添乗が乗車可とした移動の足として、平成30年（2018年）10月より、コミバスとして、三者協働の地域生活交通として運行し現在に至る。</p>
主な活動地域	<input checked="" type="checkbox"/> 大和市内を中心に活動 <input type="checkbox"/> 市外を中心に活動 （活動地域： ）
活動内容と活動実績	<p>①. 日々の継続的な運行を事業者に移行したことで、添乗の半数がリタイヤし、それまでのように、全便の乗車が難しくなり、新たに若い方が参加可能な方法・内容を検討。メンバー全員の1か月分の都合の良い日・時間の調整をし、添乗に参加しやすい工夫をする。（ただし、昨年4月から新型コロナ禍で、市から添乗は当面の間、見合わせるとなり、現在に至る。）</p> <p>②. 添乗をしている間に、利用の方々の体力・気力等が落ちる状況、杖を利用した歩行、歩行カートでの外出と、変化を見ていたため、添乗の代替を検討し、現在、各地域の停留所で、利用者の見送り、見守りと停留周辺を中心とした清掃活動を実施し、つながりを保つように努めている。</p> <p>③. 新たな利用の方とも、顔見知りになる、清掃活動の継続により、利用者以外の地域の方々とも知り合いとなる機会が増え、地域に、のりあいの広報が高まっている。</p> <p>④. 交替されていく運転士さんともつながりができ、初めて利用の方からも、安心して乗れると言っている。</p>

活動実績：乗車人数

年度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計人数
17 / H29	1,350	1,273	1,487	1,537	1,437	1,378	1,421	1,287	1,334	1,129	1,105	1,268	16,006
18 / H30	1,268	1,300	1,381	1,412	1,375	1,160	1,908	1,887	1,950	1,776	1,807	2,163	19,387
19 / R1	2,108	2,135	2,274	2,557	2,403	2,370	2,414	2,408	2,367	2,150	1,923	1,740	26,849
20 / R2	1,091	1,193	1,959	1,985	1,839	1,913	2,060	1,725	1,832	1,416	1,486	1,886	20,395

相鉄バス（（株））運行開始：令和元年10月から
 添乗乗車中止（新型コロナ禍）：令和2年4月16日以降

活動実績：添乗（4/15までは、車内での添乗実施）と

代替活動（見守り・見送り・停留所、ルート周辺の清掃）

令和2年度（2020年4月～2021年3月）

添乗日	乗数	上期	下期	合計
		122	121	243
計画	便数	366	363	729
実便	数	247	414	661
実人	数	42	71	113

・*
便数・人数
予定と実績

※実便数：延人数（便数）

※実人数：延人数（日数）

会員数	35人（以前は、利用者の自主的な登録を実施（900名）していたが、現在は、利用者を会員という形を取っていない。安否確認等の連絡等が取れる状況にしている。）運営に関わる事務局メンバー6名、関係自治会長9名、その他、地域の市議会議員、民生委員児童委員代表等顧問6名、監査2名、添乗メンバー等12名			
過去に助成を受けた実績	支給団体名	年月	金額	内容
	神奈川ネット	H22年1月	¥150,000	1ヶ月のレンタカー代
協働事業の実績 ※継続事業の場合のみ記載	市担当課名	年～年	負担金	内容
	街づくり総務課	2018年～ 2019年	400,000	バス停管理等
	街づくり総務課	2019年～ 2020年	800,000	
街づくり総務課	2020年～ 2021年	560,973		



第4号様式

令和3年4月15日

令和3年度協働事業提案申請書

大和市長 あて

申請者 団体名 特定非営利活動法人かながわ難民定住援助協会

代表者の職名・氏名 会長 櫻井ひろ子

住 所 

連絡先 

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ 「つるま読み書きの部屋」
申請種別 (どちらかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型

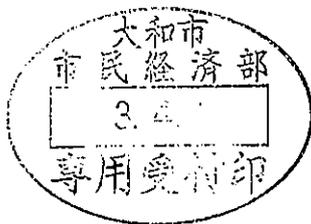
※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
(ご了承いただいた場合は、□にチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 活動実績書類(※) () <input checked="" type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	---

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



第1号様式

令和3年 4月 15日

市民提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	特定非営利活動法人 かながわ難民定住援助協会
事業名称	生活に役立つ日本語の読み書きを学ぶ 「つるま読み書きの部屋」
協働したい担当課	文化スポーツ部 国際・男女共同参画課

解決したい課題	多くの外国人市民は系統だった日本語学習の機会に恵まれず、生活の中で日本語を習得するため、聞いたり話したりはできるようになるものの、読んだり書いたりする習得は難しい状況にある。 行政からのお知らせや学校のお知らせ等を読めなかったり、問診票や各種申込などの記入が難しかったり、生活に不利益が出ている。
事業の目的	日本人と外国人学習者が、同じ地域に住む生活者の立場で、さまざまなテーマに対する情報や意見を交換し、お互いの理解を深める。 学習の場を通して、学習者が文字情報を読み取る能力と言語を文章化できる能力を高めることを手助けできる場を作る。
事業の内容	日本での生活経験のある外国籍市民を対象に、生活に役立つテーマを選び、日本語の知識や文化・習慣に対する理解を深めていく場を設ける。 生活の場面で遭遇する様々な日本語の文字情報を読んだり、書いたりして必要な日本語の能力を高めることを目標とした日本語教室「つるま読み書きの部屋」を開催する。 「つるま読み書きの部屋」の授業で使用した各種資料や教案といった成果物は「つるま読み書きの部屋」ホームページを通して広く内外に発信することで事業の継続性と価値を高めていく。
事業実施で得られる成果	かながわ難民定住援助協会と大和市が連携することで、大和地域における日本語支援の環境整備が図られ、外国籍市民の自立に向けた支援をより効果的に行える。 大和市との協働事業であることで、事業の成果を他の団体や県内の自治体にも広く伝えていくことができる。

令和4年度 事業予算	155,000 円(希望市負担金額 100,000 円)
役割分担	<p>【応募者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本語教室の開催(年間18回) ● 「生活に役立つ日本語の読み書き」資料収集と教材作成 ● 成果物(教材)のまとめとホームページでの共有 ● 資料検討会の開催(年間3回) <p>新規スタッフ研修会の開催(年間3回)</p>
	<p>【市の事業担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催場所の確保 ● 「広報やまと」を通じた講座情報の発信 ● 事業へのアドバイス ● 資料収集と教材作成に関わる費用の補助 ● 資料検討会、スタッフ研修会の開催に関わる費用の補助
市との協働の 必要性	<p>多文化共生社会の実現は大和市の重要な施策の一つである。そのため日本語教室は、単に外国人学習者個人の利益にとどまるだけでなく、日本人市民と外国籍市民の相互理解を深め、多文化共生の地域環境作りに大きく貢献する。</p> <p>一方で外国籍市民の中では日本語を使わずに生活するコミュニティが形成されつつある。外国人の孤立することを防ぎ、社会参加を促すとともに、地域の安定した社会づくりにも貢献できると考えられる。</p> <p>外国籍市民の日本語能力が上がることで、行政上におけるさまざまな手続きがよりスムーズに行われることも期待される。</p>
協力団体	<p>市民活動センター、やまとの力社 (ホームページ開発と運用支援)</p>
その他	<p>大和市には約7108人の外国籍市民が住んでいる。これは県内の市町村の中で5番目に多い数になり、大和市民の約34人にひとり外国籍市民である。</p> <p>大和市内にはボランティアによる日本語教室が多数活動しており、長年にわたって外国籍市民が日本語を学び、かつ情報交換ができる貴重な場となっている。</p> <p>これらの多くの教室では「初歩的な会話」中心の授業であるが、生活の場で直面する日本語の「読む」「書く」といった能力を向上させたいという学習者のニーズは高い。</p> <p>そのような背景から、外国籍市民が生活していく上で必要な文字情報を十分理解出来る様な学習の場をつくり、地域社会との連携を深めていきたい。</p>

◆スケジュール

【令和4年度】

実施月	実施内容
4月	協働事業報告会
5月～7月	第1期資料検討会（1回） 第1期講座（夜講座3回、昼講座3回）
9月	新しい人材確保のための研修講座（3回）
10月～12月	第2期資料検討会（1回） 第2期講座（夜講座3回、昼講座3回）
1月～3月	第3期資料検討会（1回） 第3期講座（夜講座3回、昼講座3回）
3月	年間総括/決算 調整会議

【令和5年度】

実施月	実施内容
4月	協働事業報告会
5月～7月	第1期資料検討会（1回） 第1期講座（夜講座3回、昼講座3回）
9月	新しい人材確保のための研修講座（3回）
10月～12月	第2期資料検討会（1回） 第2期講座（夜講座3回、昼講座3回）
1月～3月	第3期資料検討会（1回） 第3期講座（夜講座3回、昼講座3回）
3月	年間総括/決算 調整会議

【令和6年度】

実施月	実施内容
4月	協働事業
5月～7月	第1期資料検討会（1回） 第1期講座（夜講座3回、昼講座3回）
9月	新しい人材確保のための研修講座（3回）
10月～12月	第2期資料検討会（1回） 第2期講座（夜講座3回、昼講座3回）
1月～3月	第3期資料検討会（1回） 第3期講座（夜講座3回、昼講座3回）
3月	年間総括/決算 調整会議

◆収支予算書 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

【令和4年度】

収入の部

費目	金額(円)	内訳
受講料	35,000	講座受講料
大和市助成金	100,000	
かながわ難民定住援助協会	20,000	
収入合計	155,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
研修費	5,000	外部研修参加費
交通費	6,000	ボランティア6人
教材費・印刷費	50,000	日本語教材、資料収集、コピー
消耗品費	35,000	インクカートリッジ、文具類
通信・運搬費	5,000	切手、はがき、電話、チラシ郵送
支出合計	155,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和5年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。協働事業報告会
収入の部

費目	金額(円)	内訳
受講料	35,000	講座受講料
大和市助成金	100,000	
かながわ難民定住援助協会	20,000	
収入合計	155,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
研修費	5,000	外部研修参加費
交通費	6,000	ボランティア6人
教材費・印刷費	50,000	日本語教材、資料収集、コピー
消耗品費	35,000	インクカートリッジ、文具類
通信・運搬費	5,000	切手、はがき、電話、チラシ郵送
支出合計	155,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和6年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
受講料	35,000	講座受講料
大和市助成金	100,000	
かながわ難民定住援助協会	20,000	
収入合計	155,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
研修費	5,000	外部研修参加費
交通費	6,000	ボランティア6人
教材費・印刷費	50,000	日本語教材、資料収集、コピー
消耗品費	35,000	インクカートリッジ、文具類
通信・運搬費	5,000	切手、はがき、電話、チラシ郵送
支出合計	155,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

自己紹介シート

団体の名称等	特定非営利活動法人 かながわ難民定住援助協会 【代表者の職名・氏名】会長・櫻井ひろ子
団体の住所	12
連絡担当者 及び連絡先	---
ホームページ	http://www.enjokyokai.org/
設立年月	昭和61年12月（法人格取得時期：平成13年4月）
設立の目的・ 経緯	<p>【目的】 神奈川県内及び近隣に定住しているカンボジア、ラオス、ベトナムのインドシナ難民定住者を主とする外国人定住者を対象に、自発性、奉仕性、無償性を踏まえ、政治、宗教、思想に偏ることのないボランティア活動で彼らの自立に繋がる事業を行い、地域社会に寄与する。</p> <p>【設立の経緯】 インドシナ難民定住者のアフターケアの機関として公益財団法人アジア福祉教育財団（前財団法人）・難民事業本部と大和定住促進センターが組織を作り、神奈川県明るい社会づくり運動連絡協議会より同上センターへの寄付金を資金として設立に至る。</p>
主な活動地域	<input checked="" type="checkbox"/> 大和市内を中心に活動 <input type="checkbox"/> 市外を中心に活動 （活動地域：大和市全域）

<p>活動内容と 活動実績</p>	<p>①日本語ボランティア教室 地域定住での生活情報の収集に必要な日本語でのコミュニケーション能力を高めるための日本語教室を開催。 教室数＝19、受講者数＝延8,000名／年、</p> <p>②学習室 定住者子弟の小・中・高校生を対象に5教科の補習や作文論文の書き方、テスト対策、宿題などへの対応や相談。</p> <p>③親子の日本語教室 近隣の小学校2校と中学校1校と連携して、日本語の読み書きに必要な日本語を体系的に指導。(年間30回不定期) 教室数＝4、受講者数＝延1,500名</p> <p>④日本語ボランティア養成講座 日本語ボランティアの基礎知識を学び、共通認識を養いながら仲間作りを目指し開催。</p> <p>⑤法律相談 ベトナム・カンボジア・ラオス人の通訳付きで弁護士による法律相談会を開催。(月1回)</p> <p>⑥生活相談 定住者に入管、職安、市区町村窓口、学校、病院への付き添いや県営住宅の入居手続きの書類の作成などの依頼や相談とそれに即したサポート。</p> <p>⑦イベント活動 学生とインドシナ難民との文化交流。料理教室などの開催。</p> <p>⑧広報活動 関係各機関と会員向け広報紙「ゆうあい」発行。 ベトナム・ラオス・カンボジアの定住者向けの対訳付き情報紙「つうしん」発行。HPを随時更新。</p> <p>⑨人材紹介 通訳・翻訳者や他団体の講演・研修等での講師の紹介。</p>			
<p>会員数</p>	<p>110人</p>			
<p>過去に助成を受けた実績</p>	<p>支給団体名 大和市社会福祉協議会</p>	<p>年月 令和2年3月</p>	<p>金額 50,000</p>	<p>内容 まいにちべんきょうする日本語</p>

	大和市国際化協会	令和2年6月	63,000	日本語
協働事業 の実績 ※継続事業の 場合のみ記載	市担当課名	年～年	負担金	内 容
	国際・男女共同 参画課	平成22年～ 平成24年	22年 100,000	協働事業 負担金
			23年 100,000	
			24年 100,000	
	国際・男女共同 参画課	平成25年～ 平成27年	25年 100,000	協働事業 負担金
			26年 100,000	
			27年 100,000	
	国際・男女共同 参画課	平成28年～ 平成30年	28年 100,000	協働事業 負担金
			29年 100,000	
			30年 100,000	
	国際・男女共同 参画課	令和1年～ 令和3年	1年 100,000	協働事業 負担金
			2年 60,000	
			3年 100,000	



第4号様式

2021年 4月 17日

令和3年度協働事業提案申請書

大和市長 あて

申請者 団体名 渋谷きんりん未来の会

代表者の職名・氏名 大津 雅子

住所

連絡先

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業
申請種別 (どちらかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型

※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
(ご了承いただいた場合は、□にチェックをしてください。)

■ 申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 活動実績書類(※) () <input checked="" type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	---

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



2021年 4月 17日

市民提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	渋谷きんりん未来の会
事業名称	地域と学校の連携による大和市立渋谷中学校学校開放事業
協働したい担当課	図書・学び交流課

解決したい課題	<p>地域の高齢化や家庭状況の複雑化、また外国人居住者が多いなど、大和市南部地域の課題を解決する為、下和田地区児童の居場所づくり・外国籍児童等の学習支援・市民活動活性化など学校開放事業を通じ、地域に貢献したい。</p> <p>運営時間の短縮により、勤務形態や運営方法等工夫し、効果的・効率的な運営につとめ内容の充実を図りたい。</p>
事業の目的	<p>新しい公共の創造に寄与し、大和市立渋谷中学校の生徒のみならず、地域住民の生涯学習を推進し、市民の交流できる居場所として渋谷中学校との連携のもと、活力ある住みよい地域となることを目的とした学校開放を推進し、「地域に根ざし、地域の未来を担う学校づくり」を実現することを目的とします。</p>
事業の内容	<p>(1) 会議室、特別教室の市民への貸し出しなどを通じた市民活動の活性化事業 これまでの実績から得た利用者のニーズを基に、広く団体や個人の利用を促すよう積極的に取り組み、より良い地域活動の活性化を目指します。</p> <p>(2) 地域ニーズに基づいた生涯学習の推進支援事業 地域住民の生涯学習の推進、又、交流の場となる活動及び支援を行います。 地域の諸団体との協力を基本として活動を推進します。</p> <p>(3) 下和田地区の児童館機能、子どもや保育者、中高生、高齢者などの居場所としての事業 対象者を、親子、小学生、中高生、高齢者などに大きく分け、地域の人々の憩いの場、学びの場として日々充実活動できる場を提供していきます。 更に、閉校した元下和田小学校の思い出を伝えていきます。</p> <p>(4) 伝統文化・国際交流・環境配慮等に関するイベント企画等 ①日本の伝統文化を伝えるため、地域の方の協力のもとに事業を行います。 ②地域に生きる外国籍の方々との交流・理解を基本として活動を推進します。 ③下和田の郷への認知に力を入れ、子どものみならず、大人についての支援も必要に応じ取り組みます。 ④学校との連携をはじめ、自治会や社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会や支援団体などとの連携を強めます。 ⑤地域の方との協力や学校との連携の中で活動を推進します。環境美化やリサイクル工作、省エネのグリーンカーテン作りなどを行います。</p> <p>(5) 情報発信事業</p>

	<p>活動を紹介するホームページの継続。従来どおり、地域への回覧による情報紙『下和田の郷通信』や必要に応じて事業ごとのチラシを発行し、中学校や地域に活動情報を発信します。また、小学生向けに各月の『行事のお知らせ』を発行し、近隣の小学校に配布します。</p>
<p>事業実施で得られる成果</p>	<p>新しい公共の具体的な姿を体現し、「地域に根ざし、地域の未来を担う学校づくり」という行政のねらいの一端を具現化している点で効果があります。</p> <p>「健康都市やまと MANABI 計画（大和市生涯学習推進学習推進計画）」における「豊かな心と感動が広がるまち」づくりに貢献します。</p> <p>多様化する市民ニーズにこたえ、人と人をつなげ、地域に学習活動を広げることに効果があります。</p> <p>今後の学校開放の一つのモデルとなる活動実施を行うという点で効果があります。</p>
<p>令和4年度事業予算</p>	<p>4,954,506 円（希望市負担金額 4,832,506 円）</p>
<p>役割分担</p>	<p>【応募者】 大和市立渋谷中学校学校開放の推進に必要な事項を実施し、地域との連携を深める活動を通じて、地域のための学校開放事業を向上させていくこと</p> <p>【市の事業担当課】 事業に必要な経費の負担、事業企画等への助言 学校開放業務に伴う各種消耗品等の補充 広報掲載・PR 等の支援</p>
<p>市との協働の必要性</p>	<p>事業の広報や各協力団体との連携や講師の紹介など市との協働によりスムーズに行え、施設の PR にもなっている。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設利用のルール作りや、消毒剤の補充など市との協働による効果は大きい。</p>
<p>協力団体</p>	<p>地域自治会、地区社協、地区民児協 大和市国際化協会 栄養士みつわ会 大和市立渋谷中学校 大和市立渋谷小学校 施設利用団体</p>
<p>その他</p>	<p>事業参加者や施設利用団体との交流の中から活動の幅を広げてゆき、新しい学習活動の創出につながるよう取り組んでいきます。外国籍児童の学習支援なども渋谷中学校と協力し積極的に取り組んでいきたい。</p>

◆スケジュール

【令和4年度】

実施月	実施内容
毎月1回	市民向けPC相談会
毎週土曜	Sat. チャレンジルーム（学習支援事業） 渋谷中学校の生徒向けの事業を地域の小学生向けに拡大
年数回	アレンジフラワー・おたのしみ工作 ウクレレ教室・布わらじ作り しめ縄飾り作り・押し花教室 利用者と一緒に館内大掃除
その他	手芸・工作・国際・環境・居場所づくりなど地域の皆さんや利用者へのアンケートを通じて必要な事業を追加し開催

【令和5年度】

実施月	実施内容
毎月1回	市民向けPC相談会
毎週土曜	Sat. チャレンジルーム（学習支援事業） ※令和4年度の課題を受けて参加者の拡大及び内容の改善 （ボランティア講師の人数増など）
年数回	国際交流事業 ※令和6年度の日本語教室へ向けて地域の外国籍の方々と交流拡大とニーズの掘り起こし・各外国籍支援団体との交流を行う
年数回	外国籍児童の学習支援事業
年数回	アレンジフラワー・おたのしみ工作 ウクレレ教室・布わらじ作り しめ縄飾り作り・押し花教室 利用者と一緒に館内大掃除
その他	手芸・工作・国際・環境・居場所づくりなど地域の皆さんや利用者へのアンケートを通じて必要な事業を追加し開催

【令和6年度】

実施月	実施内容
毎月1回	市民向けPC相談会
毎週土曜	Sat. チャレンジルーム（学習支援事業） ※令和5年度の課題を受けて参加者の拡大及び内容の改善
毎月1回～毎週	日本語教室（大人向け）
毎月1回～毎週	外国籍児童の学習支援事業
年数回	アレンジフラワー・おたのしみ工作 ウクレレ教室・布わらじ作り しめ縄飾り作り・押し花教室 利用者と一緒に館内大掃除
その他	手芸・工作・国際・環境など地域の皆さんや利用者へのアンケートを通じて必要な事業を発展させ活動の充実を図り、地域の居場所として充実させる

◆収支予算書 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

【令和4年度】

収入の部

費目	金額(円)	内訳
市負担金	4,832,506	協働事業負担金(人件費・事業費)
参加費	122,000	事業参加費(材料費) 6事業(16回)…料理教室・しめ縄作り等
収入合計	4,954,506	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	4,381,960	年間開放日数(335日) 平日午前540H*1人*1012円(県最低賃金)=546,480円 平日午後630H*2人*1012円=1,275,120円 休日1007.5H*2人*1012円=2,039,180円 事業実施395H*1人*1012円=399,740円 施設管理日(会議)12H*10人*1012円=121,440円
労災保険料	13,146	4,381,960円*(3/1000)
事業費	368,600	
謝礼	149,500	6事業(1H)1,500円*73H*1名=109,500円 1事業10,000円(4H*4人)*4回=40,000円
事務管理費	26,400	銀行手数料2,200円*12月=26,400円
消耗品費	10,000	
通信費	4,900	
支出合計	4,954,506	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和5年度】※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
市負担金	4,836,849	令和4年度と同じ
参加費	122,000	
収入合計	4,958,849	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	4,386,290	年間開放日数(335日) 平日午前 540H*1人*1013円(県最低賃金)=547,020円 平日午後 630H*2人*1013円=1,276,380円 休日 1007.5H*2人*1013円=2,041,195円 事業実施 395H*1人*1013円=400,135円 施設管理日(会議) 12H*10人*1013円=121,560円
労災保険料	13,159	4,386,290円*(3/1000)
事業費	368,600	令和4年度と同じ
謝礼	149,500	
事務管理費	26,400	
消耗品費	10,000	
通信費	4,900	
支出合計	4,958,849	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和6年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
市負担金	4,841,192	令和4年度と同じ
参加費	122,000	
収入合計	4,963,192	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	4,390,620	年間開放日数(335日) 平日午前 540H*1人*1014円(県最低賃金)=547,560円 平日午後 630H*2人*1014円=1,277,640円 休日 1007.5H*2人*1014円=2,043,210円 事業実施 395H*1人*1014円=400,530円 施設管理日(金機) 12H*10人*1014円=121,680円
労災保険料	13,172	4,390,620円*(3/1000)
事業費	368,600	令和4年度と同じ
謝礼	149,500	
事務管理費	26,400	
消耗品費	10,000	
通信費	4,900	
支出合計	4,963,192	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

自己紹介シート

<p>団体の名称等</p>	<p>渋谷きんりん未来の会 【代表者の職名・氏名】代表 <small>おおつ まきこ</small> 大津 雅子</p>
<p>団体の住所</p>	<p>〒</p>
<p>連絡担当者 及び連絡先</p>	<p>担当 電 e- 住</p>
<p>ホームページ</p>	<p>http://shimowadanosato.sakura.ne.jp/</p>
<p>設立年月</p>	<p>平成 16年 5月 (法人格取得時期 平成/令和 年 月)</p>
<p>設立の目的・ 経緯</p>	<p>大和市南部の区画整理事業に伴い、平成 16年 4月に新築移転した渋谷中学校に併設された渋谷中学校学校開放スペースの運営を担い、「新しい公共の創造」という理念が学校を中心に具体化するモデルとなる場をつくりあげ、市民の支え合いを通じ、広く地域の発展に貢献することを目的とします。また、新渋谷中学校の学校開放スペースは、従来の社会教育的地域交流機能に加え、子ども同士の支えあいや、国際交流、環境教育等において充実したソフトや機材、人的ネットワークを擁し、学校教育を地域が支えるモデル事業の実践の場としての機能を付加します。このために必要な、ソフト、設備、機材などを地域、家庭、専門家、教育委員会、行政が持てる力を出し合い計画をつくり、実践していくことを目的とします。</p>

<p>主な活動地域</p>	<p>■ 大和市内を中心に活動</p> <p>□ 市外を中心に活動</p> <p>(活動地域:)</p>
<p>活動内容と活動実績</p>	<p>1.会議室、特別教室の市民への貸し出しなどを通じた市民活動の活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館業務一受付、管理、来館者支援、清掃 ・図書・学び課(学び交流系、渋谷学習センター)、管理運営委員会、小・中学校との連絡調整 <p>2.地域ニーズに基づいた生涯学習の推進支援事業</p> <p>【情報事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCなんでも相談室「地域の方」 ・テッ 外カフト(PCで遊ぼう) <p>【花育事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレンジフラワー <p>【成人・シニア向け事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初心者向けフラダンス「村山利子さん」 ・初心者向けウクレレ「木村三郎さん」 ・押し花教室「西村ふみ子さん」 ・習字教室「真田静香さん」 ・織り輪「林 玲子さん」 ・消しゴムはんこ「岩倉 史子さん」 <p>【調理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男の料理教室「みつわ会」 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生との企画による事業 ・災害時の緊急一時避難場所として大和市や渋谷中学校と連携した地域への貢献 ・事業実施後の自主サークル活動への支援、ネットワーク化 ・スタッフ研修 <p>3.下和田地区の児童館機能、子どもや保育者、中高生、一般などの居場所としての事業</p> <p>【子育て支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベビーヨガ <p>【読書活動推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書業務(寄贈図書管理・整理) <p>【レクリエーション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道場で遊ぼう ・スクリーンを使って ・かるた大会とおしるこ食べよう

	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り 【ディスプレイ事業】 ・季節に合わせた館内ディスプレイ ・カレンダー作り 【学習事業】 ・書き初め教室「真田 静香さん」 【工作、手芸事業】 ・切り絵「小林 一男さん」 ・おたのしみ工作「岩倉 史子さん」 【その他】 ・展示物などで下和田小学校の思い出を伝える <p>4.伝統文化・国際交流・環境配慮等に関するイベント企画等</p> <ul style="list-style-type: none"> 【伝統文化事業】 ・地域の人に教えてもらおう（6月：わらじ作り、 12月：正月飾り）「小林勝さん」 【国際交流事業】 ・チャレンジルーム（学習支援）「中山 耕造 先生」 【環境事業】 ・リサイクル工作 ・省エネ対策としてのグリーンカーテン作り ・地域の環境美化協力 【その他】 ・場としての活用に関する情報提供 <p>5.情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動紹介のホームページの充実 ・中学校区地域への情報誌『下和田の郷通信』の発行 ・小学校へ配布の『行事のお知らせ』の発行 ・タウン紙等に情報提供 			
<p style="text-align: center;">会員数</p>	<p style="text-align: center;">.....24人</p>			
<p style="text-align: center;">過去に助成を受けた実績</p>	<p style="text-align: center;">支給団体名</p> <p>神奈川子ども未来ファンド</p>	<p style="text-align: center;">年月</p> <p>2007年4月</p>	<p style="text-align: center;">金額</p> <p>327,435円</p>	<p style="text-align: center;">内容</p> <p>講演会・スタッフ研修費用</p>

		2014年4月	1,2900円	
		2015年4月	2,7500円	
		2016年4月	8100円	
	イオン黄色いレシートプログラム	2017年4月	1,9600円	消耗品費用
		2018年4月	2,1600円	
		2019年4月	2,5300円	
		2020年4月	2,6265円	
協働事業 の実績 ※継続事業の 場合のみ記載	市担当課名	年～年	負担金	内容
	生涯学習センター	2004年～2006年	5,136,455円	
			6,812,640円	
			6,812,640円	
	生涯学習センター	2007年～2009年	7,083,868円	
			7,512,784円	
			7,512,473円	
	生涯学習センター	2010年～2012年	7,551,565円	
			7,731,387円	
			7,804,346円	
	生涯学習センター	2013年～2015年	7,827,184円	
			8,011,354円	
			8,124,688円	
	生涯学習センター	2016年～2018年	8,240,592円	
8,439,701円				
8,658,847円				
図書・学び交流課 学び交流担当	2019年～2021年	8,911,564円		
		9,064,119円		
		8,665,461円		



第4号様式

令和3年5月10日

令和3年度協働事業提案申請書

大和市長 様

申請者(特非) ワーカーズ・コレクティブケアびーくる

代表者の職名・^{よりがな}氏名 理事長・^{おくだいら}奥平 ^{ますみ}ます美

住所

連絡先

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	移動制約者の外出介助サービス事業
申請種別 (どちらかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型

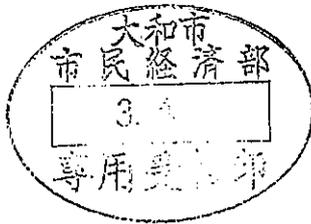
※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
(ご了承いただいた場合は、口^ににチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 活動実績書類(※) () <input checked="" type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	---

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



第1号様式

令和3年4月17日

市民提案型協働事業企画書

応募者（団体名）	(特非)ワーカーズ・コレクティブ ケアびーくる
事業名称	移動制約者のための外出介助サービス事業
協働したい担当課	障がい福祉課

解決したい課題	<p>介助付き移動サービスの活動実態の理解を行政や市民に深めてもらう。 メンバーの拡充、世代交代。 会所有の4台の福祉車のうち、古くなったものの更新。</p>
事業の目的	<p>一人では公共の交通機関を使えない障がい児・者や高齢者などの移動制約者が、外出時の困難や不安を解消し、社会参加の促進が図られることを目的とする。(道路運送法第79条および施行規則第49条第3号にもとづく福祉有償運送の位置づけ。)</p>
事業の内容	<p>会員登録をした障がい者や高齢者等を対象に、車両を使った「介助付の移動支援サービス」を実施。利用者や家族の依頼に応じて、ドア・ツー・ドアはもとより、ベッド・ツー・ベッドの移動を介助（エレベーターの無い2階以上階からの車いすでの昇降、外出先でのトイレ介助、車いす介助等の付添など）。</p> <p>利用例：通院、入退院・転院、通学・通所、買物、墓参、食事、お花見や紅葉狩り、旅行、冠婚葬祭など。</p> <p>会所有：車いす対応車(4台)、車いす、フルリクライニング車いす、ストレッチャー、段差対応携帯用スロープ</p> <p>会員所有：登録車両(14台)</p>
事業実施で得られる成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自力で移動することが困難になっても、住み慣れたまちや家で自分らしく暮らせる。 ・一人で外出できなくなっても、行きたいところへ、行きたいときに行けることによって生活の質を保ち生きる喜びを実感できる。 ・外出はもっとも有効な介護予防と言われている。生活に張りを持たせ生きる意欲を喚起する効果がある。心と体の健康を増進させるために有効な手段である。 ・相互扶助の精神で行うことにより、ニーズに添った外出をより安価に実現することができる。

<p>令和4年度 事業予算</p>	<p>10,350,000円(希望市負担金額 200,000円)</p>
<p>役割分担</p>	<p>【応募者】 大和市の移動制約者のための外出介助サービス事業 相互扶助精神で「誰でも・いつでも・どこにでも」出かけられる社会を目指して活動する。</p> <p>【市の事業担当課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の広報誌などを利用した広報活動 ・事業に必要な車両の駐車場の確保など ・協働事業負担金 ・その他協働事業として必要と認められるもの
<p>市との協働の 必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路運送法に係る制度改正等により、市は、それまで実施していた「ハンディキャブ運行事業」を平成17年に廃止し、市内で制度登録を受けた団体に協力要請があった。 ・移動制約のある高齢者・障がい者・生活困窮者の外出をサポートすることにより、適切に医療に繋げることができる。 また、人が精神の健康を保つためには、月7回以上の外出が必要という研究調査も（時期的に考慮せざるをえないが）。 ・移動に制約のある生活困窮者の通院・通所などの際に発生する経済的負担をできる限り低く抑える必要がある。 ・移動に制約のある高齢者・障がい者等が気軽に外出することによって消費を促し、地域経済の活性化を図ることができる。 ・福祉車両4台の維持管理は経営上大きな負担がかかる。市の負担金と福祉車の駐車場所、車いすなどの保管場所の提供がないと事業の継続は難しい。 ・市の広報によって、外出介助サービスが周知できる。 ・協働することにより、適切な料金で移動困難な方々の社会参加を促進することができる。
<p>協力団体</p>	
<p>その他</p>	

◆スケジュール

【令和4年度】

実施月	実施内容
通年	移動制約者の外出介助サービス 活動を広くPRするための取組 (担い手の拡大、利用会員の拡大) 会の経営安定のため助成事業への応募

【令和5年度】

実施月	実施内容
通年	移動制約者の外出介助サービス 活動を広くPRするための取組 (担い手の拡大、利用会員の拡大) 会の経営安定のため助成事業への応募

【令和6年度】

実施月	実施内容
通年	移動制約者の外出介助サービス 活動を広くPRするための取組 (担い手の拡大、利用会員の拡大) 会の経営安定のため助成事業への応募

◆収支予算書 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

【令和4年度】

収入の部

費目	金額(円)	内訳
会費収入	300,000	入会 80 名、継続会員 160 名
事業収入	6,750,000	
車両運行収入	2,800,000	運送の対価
寄付金・助成金など	300,000	県共同募金・市社協助成金・寄付金
市負担金	200,000	車両維持費の一部として
収入合計	10,350,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	6,900,000	令和 2 年度ベース
車両維持管理費	1,920,000	燃料費・車両維持費(車検 4 台)
保険料	380,000	自動車保険・全社協福祉サービス補償
その他事業に必要な経費	400,000	
税金	750,000	
支出合計	10,350,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。
 ※行が不足する場合は追加してください。

【令和5年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
会費収入	300,000	入会 80 名、継続会員 160 名
事業収入	6,750,000	
車両運行収入	2,800,000	運送の対価
寄付金・助成金など	300,000	県共同募金・市社協助成金・寄付金
市負担金	200,000	車両維持費の一部として
収入合計	10,350,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	6,900,000	
車両維持管理費	1,920,000	燃料費・車両維持費
保険料	380,000	自動車保険・全社協福祉サービス補償
その他事業に必要な経費	400,000	
税金	750,000	
支出合計	10,350,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和6年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
会費収入	300,000	入会 80 名、継続会員 160 名
事業収入	6,750,000	
車両運行収入	2,800,000	運送の対価
寄付金・助成金など	300,000	県共同募金・市社協助成金・寄付金
市負担金	200,000	車両維持費の一部として
収入合計	10,350,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	6,900,000	
車両維持管理費	1,920,000	燃料費・車両維持費(車検 4 台)
保険料	380,000	自動車保険・全社協福祉サービス補償
その他事業に必要な経費	400,000	
税金	750,000	
支出合計	10,350,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

自己紹介シート

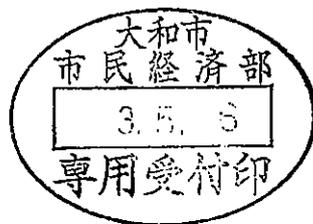
団体の名称等	特定非活動法人 ワーカーズ・コレクティブ ケアびーくる 【代表者の職名・氏名】 ^{ふりがな} 奥平 ^{おくだいら} ますみ ^{ますみ} 美
団体の住所	
連絡担当者及び連絡先	
ホームページ	http:// care-vehicle.org/
設立年月	平成 10 年 5 月 (法人格取得時期 平成 11 年 9 月)
設立の目的・経緯	<p>【設立の目的】 一人では公共の交通機関を使えない障がい児者や高齢者などの移動制約者の外出時の困難や不安を解消し、社会参加の促進が図られることをめざす。現在は、道路運送法 79 条および施行規則第 49 条第 3 号にもとづく福祉有償運送の位置づけである。</p> <p>【設立の経緯】 市内で活動している家事介護の非営利団体から、車両を使う外出介助サービスの需要が増え始めている(ニーズが顕在化している)という課題提起があった。当時、市は2台のハンディキャブで送迎事業を行っていたが、①登録者 500 人 ②2か月前から予約が必要 ③通院目的に限定 ④土日祝日、早朝夜間は使用不可などの制約により「使いにくい・使えない」という声も多く聞いた。また、福祉タクシーの営業所が市内に無く、少しの移動でも車庫発着の高額な料金が発生していた。そこで、地域で生活する市民がお互い様の助け合いの中で外出介助サービスを生み出せないかと、有志が集まり呼びかけ人を作り、出資し・労働・経営するスタイル(ワーカーズ・コレクティブ)で、「ワーカーズ・コレクティブ ケアびーくる」を立ち上げた。</p>

主な活動地域	<input checked="" type="checkbox"/> 大和市内を中心に活動 <input type="checkbox"/> 市外を中心に活動 (活動地域:)
活動内容と活動実績	福祉車両4台と会員提供の登録車両14台を使い、障がい児者、高齢者などの移動制約者の外出介助サービス事業を行い、相互扶助の精神で市民参加の福祉のまちづくりを推進し、「福祉有償運送」による不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与している。 2020年度の実績としては、実利用人数で251名に、トリップ数で4,699件の移動サービスを提供した。 1年、365日対応している。
会員数26.....人 (活動に関わっている会員)

過去に助成を受けた実績	支給団体名	年月	金額	内容
	日本財団	1999年11月		キャラバン
	日本財団	2002年2月	2,100,000	マツダデミオ
	大和市	2004年3月		セレナ貸与
	日本財団	2004年3月	3,310,000	ハイエース
	日本財団	2006年2月	2,89,000	キャラバン
	W.Co基金	2015年12月	50,000	企画ツアーの広報費
	日揮社会福祉事業団	2016年3月	180,000	冬タイヤ(2台分)購入
	福祉たすけあい基金	2016年6月	280,000	車検費用の一部
	日本財団	2017年2月	2,100,000	キャラバン
	かながわ土地建物保全協会	2017年4月	350,000	運営費の補助として
	キリン福祉財団	2017年4月	70,000	広報費の一部として
	日揮社会福祉事業団	2018年3月	100,000	車検費用の一部
	かながわ土地建物保全協会	2018年4月	350,000	運営費の補助として
	日本財団	2019年2月	970,000	N-BOX
	かながわ土地建物保全協会	2019年4月	350,000	運営費の補助として
	W.Co基金	2019年11月	75,000	会計用PC購入
	かながわ生き生き市民基金	2020年10月	100,000	車両整備費の一部
	W.Co基金	2021年2月	200,000	コロナ禍、感染防止対策
	W.Co支援カバ'金助成	2021年3月	200,000	コロナ禍、運営費補助

協働事業 の実績 ※継続事業の 場合のみ配 載	市担当課名	年～年	負担金	内 容
	障害福祉課	2004年～ 2006年	200,000	
			200,000	
			200,000	
	障害福祉課	2007年～ 2009年	177,776	
			177,776	
			177,776	
	障害福祉課	2010年～ 2012年	177,776	
			177,776	
			177,776	
障害福祉課	2013年～ 2015年	177,776		
		177,776		
		177,776		
障がい福祉課	2016年～ 2018年	177,776		
		177,776		
		177,776		
障がい福祉課	2019年～ 2021年	177,776		
		177,776		
		177,776		

第4号様式



令和3年 4月 2日

令和3年度協働事業提案申請書

大和市長 殿

申請者 団体名 NPO 法人大和市腎友会

代表者の職名・氏名 会長 藤本 曜久



住 所

連絡先

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	障がい者・高齢者のための「外出介助サービス」事業
申請種別 (どちらかにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型 <input type="checkbox"/> 行政提案型

※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
(ご了承いただいた場合は、□にチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約、及び名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 活動実績書類(※) (会報 やまと じんゆう) <input checked="" type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	---

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



第 1 号様式

令和 3 年 4 月 2 日

市民提案型協働事業企画書

応募者（団体名）	NPO法人 大和市腎友会
事業名称	障がい者・高齢者のための「外出介助サービス」事業
協働したい担当課	障がい福祉課

事業の目的	障がい児者・高齢者などの移動困難者が、外出時の困難や不安を解消し、社会参加の促進を図れることを目的とする。
事業の内容	対象者は、介助なしでは移動が困難で、単独で公共交通機関の利用が困難な人。 利用は、会員制の予約方式で、障害者手帳、介護保険手帳など移動困難者と認められるものがあれば入会でき、年会費、利用都度の利用料金などをお支払いいただき、あらゆる外出に利用可能。
事業実施で得られる成果	①協働事業とすることにより、利用者からの信頼性が向上する。 ②大和市福祉車両利用券が利用できるようになる。 ③市の広報・紹介が新規利用者への大きな懸け橋となる。 ④協働事業負担金と駐車場の提供を受け、利用料金抑制の効果がある。
令和 4 年度 事業予算	5,150,000円(希望 市負担金額 177,776 円)

役割分担	<p>【応募者】</p> <p>①事業の継続実施 ②事業計画・事業報告</p>
	<p>【市の事業担当課】</p> <p>①福祉有償運送を広報し、市立病院など必要性の高い場所や市民に、事業者の紹介をする。 ②協働事業負担金、福祉車両のための駐車場の提供</p>
市との協働の必要性	<p>障がい者や高齢者など独りでは公共交通機関を利用できない移動困難者は、外出しにくく社会参加ができない方が多い。高齢化率が23%を超えた大和市でも、今後このような方々がますます増えていくなかで、福祉車両による移動を担保することは地域社会の大きな責務です。福祉有償運送事業者との協働事業化は、欠かせない重要な事業だと認識しています。</p>
協力団体	<p>認定 NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク</p>
その他	<p>福祉有償運送の利用料金は、利用しやすい低価格で提供したくても、協働事業者の必要経費を賄うためには、必ずしも利用しやすい価格にはなりません。</p> <p>また、福祉タクシー券は月額上限2千円の制限があることから、利用者は思うように使用できません。消費税増税以降、低所得者には負担割合が高くなっていることから、市の財政状況も理解できますが、改善が望まれます。</p>

◆スケジュール

【令和4年度】

実施月	実施内容
4月 ～ 3月	障がい者・高齢者のための外出介助サービスの実施

【令和5年度】

実施月	実施内容
4月 ～ 3月	障がい者・高齢者のための外出介助サービスの実施

【令和6年度】

実施月	実施内容
4月 ～ 3月	障がい者・高齢者のための外出介助サービスの実施

◆収支予算書 *実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

【令和4年度】

収入の部

費目	金額(円)	内訳
利用料収入	2,900,000	利用会員、透析会員
負担金	177,776	400,000×4/9
他事業から	2,072,224	協働事業以外からの補填
収入合計	5,150,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	1,700,000	
保険料	400,000	自動車保険、NPO活動総合保険など
燃料費	400,000	ガソリン代
車両費	2,400,000	車両リース料 50,000円×4台×12か月
その他	250,000	研修費、備品・消耗品ほか
支出合計	5,150,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和5年度】*実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
利用料収入	2,900,000	利用会員、透析会員
負担金	177,776	400,000×4/9
他事業から	2,072,224	協働事業以外からの補填
収入合計	5,150,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	1,700,000	
保険料	400,000	自動車保険、NPO活動総合保険など
燃料費	400,000	ガソリン代
車両費	2,400,000	車両リース料 50,000円×4台×12か月
その他	250,000	研修費、備品・消耗品ほか
支出合計	5,150,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和6年度】*実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
利用料収入	2,900,000	利用会員、透析会員
負担金	177,776	400,000×4/9
他事業から	2,072,224	協働事業以外からの補填
収入合計	5,150,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
人件費	1,700,000	
保険料	400,000	自動車保険、NPO活動総合保険など
燃料費	400,000	ガソリン代
車両費	2,400,000	車両リース料 50,000円×4台×12か月
その他	250,000	研修費、備品・消耗品ほか
支出合計	5,150,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

自己紹介シート

団体の名称	NPO 法人 大和市腎友会 【代表者の職名・氏名】 会長 藤本 隼久
団体の住所	〒
連絡担当者 及び連絡先	ふりがな 担当者名 電 話 e-mail 住 所
ホームページ	http://www.yjin.or.jp//
設立年月	平成 13 年 1 月 (法人格取得時期 平成 13 年 1 月)
設立の目的・経緯	1. 目的 腎臓病及び糖尿病に関する正しい知識の普及及び社会啓発並びに腎臓病及び糖尿病患者の自立と社会参加の促進を図るとともに、予防対策を深め、もって市民の健康福祉の向上に寄与すること。 2. 経緯 1982(S57)年 2 月 任意団体大和市腎友会発足 2001(H13)年 1 月 NPO 法人大和市腎友会
主な活動地域	<input checked="" type="checkbox"/> 大和市内、市外を問わず活動 (活動地域：相模原市、藤沢市、町田市、横浜市、など)

<p>活動内容と 活動実績</p>	<p>1. 福祉有償運送事業関係 2001(H13)年 6月 透析通院送迎事業を開始 2003(H15)年 11月 国交省より自家用自動車有償運送事業許可 2004(H16)年 4月 大和市との協働事業開始 2004(H16)年 4月 国交省より相模原市への地域拡大許可 2006(H18)年 10月 道路運送法改正(登録制) 2007(H19)年 4月 大和市より福祉車両の寄贈 2010(H22)年 4月 複数乗車形態を一部導入 2011(H23)年 8月 対価の変更(実価を変えず、明瞭性向上のみ) 2020(R 2)年 6月 対価の変更(実価の変更)</p> <p>2. 福祉事業関係 ①透析の患者会として、透析、医療、透析食、合併症などの情報交換を毎年開催している。 ②会員向け機関誌の発行 「やまとじんゆう」年3回発行 ③透析者向けの防災対策を2004年から継続実施している。</p>																																													
<p>会員数</p>	<p>...208人</p>																																													
<p>過去に助成を受けた実績</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支給団体名</th> <th>年月</th> <th>金額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本財団</td> <td>2002年</td> <td>337万円</td> <td>車両助成</td> </tr> <tr> <td>丸紅基金</td> <td>2003年</td> <td>200万円</td> <td>車両助成</td> </tr> <tr> <td>日本財団</td> <td>2003年</td> <td>288万円</td> <td>車両助成</td> </tr> <tr> <td>かながわボランティア活動推進基金 21</td> <td>2005年</td> <td>200万円</td> <td>透析者の防災対策</td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>2006年</td> <td>200万円</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>2007年</td> <td>200万円</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>(独)福祉医療機構</td> <td>2007年</td> <td>177万円</td> <td>障がい者防災フォーラム</td> </tr> <tr> <td>日本財団</td> <td>2008年</td> <td>201万円</td> <td>車両助成</td> </tr> <tr> <td>(独)福祉医療機構</td> <td>2009年</td> <td>200万円</td> <td>障がい者参加の地域活性化防災訓練事業</td> </tr> <tr> <td>(独)福祉医療機構</td> <td>2010年</td> <td>200万円</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table>	支給団体名	年月	金額	内容	日本財団	2002年	337万円	車両助成	丸紅基金	2003年	200万円	車両助成	日本財団	2003年	288万円	車両助成	かながわボランティア活動推進基金 21	2005年	200万円	透析者の防災対策	同上	2006年	200万円	同上	同上	2007年	200万円	同上	(独)福祉医療機構	2007年	177万円	障がい者防災フォーラム	日本財団	2008年	201万円	車両助成	(独)福祉医療機構	2009年	200万円	障がい者参加の地域活性化防災訓練事業	(独)福祉医療機構	2010年	200万円	同上	
支給団体名	年月	金額	内容																																											
日本財団	2002年	337万円	車両助成																																											
丸紅基金	2003年	200万円	車両助成																																											
日本財団	2003年	288万円	車両助成																																											
かながわボランティア活動推進基金 21	2005年	200万円	透析者の防災対策																																											
同上	2006年	200万円	同上																																											
同上	2007年	200万円	同上																																											
(独)福祉医療機構	2007年	177万円	障がい者防災フォーラム																																											
日本財団	2008年	201万円	車両助成																																											
(独)福祉医療機構	2009年	200万円	障がい者参加の地域活性化防災訓練事業																																											
(独)福祉医療機構	2010年	200万円	同上																																											



市民提案型協働事業企画書

応募者(団体名)	特定非営利活動法人 たんぽぽ
事業名称	大和市移動制約者の外出介助サービス事業
協働したい担当課	大和市障がい福祉課

解決したい課題	
事業の目的	障がい者や高齢者の移動制約者が外出のさい困難や、不安を低減、安心して、社会参加の推進が図られることを目的とした、介助付き、外出サービス事業を提供する事。
事業の内容	有償運送業として会員の所有する、福祉車両、セダンによりサービスを提供し、利用者は移動困難者として認められれば入会できる。 また入会金、年会費、利用事の料金を、お客様より徴収していますが支払は福祉タクシー券、福祉車輛利用券が使用できます。
事業実施で得られる成果	行政と事業者協働する事により、安心、信頼感により利用者の信頼感を、得られる事ができます。 また協働事業として、運転会員自身の使命感により、一層の安全運行へと認識強化され市民サービスに提供できる。

令和4年度 事業予算	1,600,000 円(希望市負担金額 44,444 円)
役割分担	【応募者】
	【市の事業担当課】 障害福祉課
市との協働の 必要性	
協力団体	
その他	

◆スケジュール

【令和4年度】

実施月	実施内容
毎月 年度末	定例会議 年次総会 運行打合会 事業報告・会計報告・他

【令和5年度】

実施月	実施内容
毎月 年度末	定例会議 年次総会 運行打合会 事業報告・会計報告・他

【令和6年度】

実施月	実施内容
毎月 年度末	定例会議 年次総会 運行打合会 事業報告・会計報告・他

◆収支予算書 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

【令和4年度】

収入の部

費目	金額(円)	内訳
会費徴収	11,000	運転会員 2名×2,000円 利用会員 7名×1,000円
事業収入 (自主事業分)	1,550,000	620件
(市委託事業分)	0	
市負担金	44,444	
収入合計	1,605,444	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
活動費	880,000	労務費
保険料	150,000	福祉車両
車両管理費	250,000	福祉車両整備・検査費用
購入車両返済費	300,000	購入車両返済金
その他	25,444	
支出合計	1,605,444	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。
※行が不足する場合は追加してください。

【令和5年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
会費徴収	11,000	運転会員 2名×2,000円 利用会員 7名×1,000円
事業収入 (自主事業分)	1,550,000	620件
(市委託事業分)	0	
市負担金	44,444	
収入合計	1,605,444	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
活動費	880,000	労務費
保険料	150,000	福祉車両
車両管理費	250,000	福祉車両整備・検査費用
購入車両返済費	300,000	購入車両返済金
その他	25,444	
支出合計	1,605,444	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください

【令和6年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
会費徴収	11,000	運転会員 2名×2,000円 利用会員 7名×1,000円
事業収入 (自主事業分)	1,550,000	620件
(市委託事業分)	0	
市負担金	44,444	
収入合計	1,605,444	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
活動費	880,000	労務費
保険料	150,000	福祉車両
車輛管理費	250,000	福祉車輛整備・検査費用
購入車輛返済費	300,000	購入車輛返済金
その他	25,444	
支出合計	1,605,444	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

<p>主な活動地域</p>	<input type="checkbox"/> 大和市内を中心に活動 <input type="checkbox"/> 市外を中心に活動 (活動地域: 大和市内)			
<p>活動内容と活動実績</p>	<p>障がいを持つ人達、高齢で外出に困難を期する人びとにたいして安心と安全に社会参加できることを目的としました。 また、平成 17 年度より大和市移動制約者の方々へのサービスを開始 16 年目を迎える事となりました。 利用会員数 97 名様の登録いただいています。 利用目的としては、病院・障がい施設・介護施設・また日々の買い物など利用を戴いています。</p>			
<p>会員数</p>	<p>..... 97人</p>			
<p>過去に助成を受けた実績</p>	<p>支給団体名</p>	<p>年月</p>	<p>金額</p>	<p>内容</p>
<p>協働事業の実績 ※継続事業の場合のみ記載</p>	<p>市担当課名</p>	<p>年 ~ 年</p>	<p>負担金</p>	<p>内容</p>
		<p>年 ~ 年</p>		
		<p>年 ~ 年</p>		
		<p>年 ~ 年</p>		
		<p>年 ~ 年</p>		
		<p>年 ~ 年</p>		

自己紹介シート

団体の名称等	特定非営利活動法人 たんぽぽ はふかしょうへい 羽 深 章 平 【代表者の職名・氏名】理事長
団体の住所
連絡担当者 及び連絡先
ホームページ	http://
設立年月	平成 17 年 6 月（法人格取得時期 平成 17 年 6 月）
設立の目的・ 経緯	障がい者高齢者の移動制約者への外出の際の困難や不安を低減し、社会参加の促進が図られる事を目的とした。 また平成 17 年度より大和市移動制約者の外出介助サービスを開始今日にいたる。



第4号様式

令和3年5月10日

令和4年度協働事業提案申請書

大和市長 あて

申請者 団体名 大和女性防犯会
代表者の職名・氏名 会長 小菅 陽子

住所 大和市中心5-15-4大和警察署生活安全課内
連絡先 046-262-7799

協働事業等提案募集要領の規定により、次のとおり申請します。

1. 申請内容

事業名称	みんなでつくろう安心のまち事業
申請種別 (どちらかにチェック)	<input type="checkbox"/> 市民提案型 <input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型

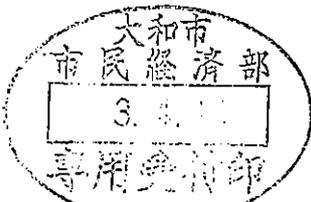
※以下の注意事項をご理解の上ご申請ください。
(ご了承いただいた場合は、□にチェックをしてください。)

申請者及び申請団体の構成員が暴力団員であるときは、申請を無効とされても異議を申し立てません。

2. 添付書類

添付書類	<input type="checkbox"/> 第1号様式 市民提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第2号様式 行政提案型協働事業企画書 <input checked="" type="checkbox"/> 第3号様式 自己紹介シート <input checked="" type="checkbox"/> 団体の定款又は規約、及び名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 活動実績書類 (※) () <input checked="" type="checkbox"/> 直近の収支決算書
------	--

※ 会報やチラシ、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付してください。
また、資料はA4の大きさにそろえてください。



第2号様式

令和3年 4月 1日

行政提案型協働事業企画書

応募者（団体名）	大和女性防犯会
事業名称 (テーマ名と同一でも可)	みんなでつくろう安心のまち事業
応募したいテーマ	みんなでつくろう安心のまち事業（生活あんしん課）

解決したい 課題	令和2年の犯罪認知件数は1,171件で、過去最多であった平成15年に比べ約18%にまで減少している。 また、高齢者が被害に遭いやすい特殊詐欺等も、減少傾向にある。しかし、犯罪の手口は多様化かつ巧妙化し、被害を防ぎきれていないのが現状であり、効果的な防犯啓発活動により、更なる認知件数の減少が必要である。
事業の目的	大和警察署・大和市防犯協会・防犯指導員等と協力して、積極的に地域の防犯活動に参画して、犯罪のない明るい住みよい街づくりを推進すること
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯キャンペーンの実施（年20回） 各種イベント会場、駅前等において自転車等の乗り物盗、空き巣、ひったくり、特殊詐欺等の身近な犯罪に対する自主防犯意識の啓発活動 ・年金支給日の防犯キャンペーンの実施（年6回） 年金支給日に銀行周辺において高齢者に対し、特殊詐欺被害防止のためのキャンペーンを実施 ・歓楽街対策パトロールの実施（年12回） 毎月第4週金曜日夜7時から、大和駅前歓楽街において徒歩でパトロールを実施 ・地域における防犯パトロールへの参加（随時） ・登下校時の子ども見守り活動の実施（随時） ・地域における防犯講話の実施（随時）

<p>私たちが できること</p>	<p>各種イベント会場で防犯コーナーを設置し、地域の方、子どもたちに防犯クイズの実施、防犯教室を通じた広報啓発、登下校時の子どもの見守り活動への協力、防犯キャンペーン・パトロール等の活動、緊急の要請にも対応できる柔軟性をもった活動を実施しており、一人でも多くの方に防犯意識をもってもらい、安心して暮らせるまちをつくることに協力できる。</p>
<p>令和4年度 事業予算</p>	<p>532,000円（希望市負担金額 532,000円）</p>
<p>役割分担</p>	<p>【応募者】 ① 各種イベント会場等での防犯活動 ② 各種キャンペーン・パトロールの実施 ③ 各種イベント・防犯コーナーへのスタッフ派遣 ④ 各地域での防犯活動 ⑤ 各地域に対する情報発信及び文書配布</p> <p>【市の事業担当課】 ① 防犯キャンペーン・イベント等の企画 ② 活動実施に関わる経費の負担 ③ 啓発活動等の広報 ④ 施設の提供 ⑤ 参加者の募集</p>
<p>協力団体</p>	<p>大和警察署、大和・綾瀬地区防犯協会連合会、大和・綾瀬地区防犯指導員連絡会</p>
<p>その他</p>	

◆スケジュール

【令和4年度】

実施月	実施内容
毎月	防犯キャンペーンの実施（駅、大型店舗等）
毎月	歓楽街対策パトロール
4月	年金支給日キャンペーン
5月	やまと市民まつりにおけるブース出店（大和市防犯協会と協力）
6月	年金支給日キャンペーン
8月	年金支給日キャンペーン
10月	安全安心まちづくり旬間キャンペーン
10月	年金支給日キャンペーン
10～11月	ふれあい広場におけるキャンペーン
11月	県女性防犯会合同キャンペーン
12月	年金支給日キャンペーン
2月	年金支給日キャンペーン

【令和5年度】

実施月	実施内容
毎月	防犯キャンペーンの実施（駅、大型店舗等）
毎月	歓楽街対策パトロール
4月	年金支給日キャンペーン
5月	やまと市民まつりにおけるブース出店（大和市防犯協会と協力）
6月	年金支給日キャンペーン
8月	年金支給日キャンペーン
10月	安全安心まちづくり旬間キャンペーン
10月	年金支給日キャンペーン
10～11月	ふれあい広場におけるキャンペーン
11月	県女性防犯会合同キャンペーン
12月	年金支給日キャンペーン
2月	年金支給日キャンペーン

【令和6年度】

実施月	実施内容
毎月	防犯キャンペーンの実施（駅、大型店舗等）
毎月	歓楽街対策パトロール
4月	年金支給日キャンペーン
5月	やまと市民まつりにおけるブース出店（大和市防犯協会と協力）
6月	年金支給日キャンペーン
8月	年金支給日キャンペーン
10月	安全安心まちづくり旬間キャンペーン
10月	年金支給日キャンペーン
10～11月	ふれあい広場におけるキャンペーン
11月	県女性防犯会合同キャンペーン
12月	年金支給日キャンペーン
2月	年金支給日キャンペーン

◆収支予算書 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

【令和4年度】

収入の部

費目	金額(円)	内訳
市負担金	532,000	市協働事業負担金
収入合計	532,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
事業費	352,000	各種防犯啓発品購入
活動費	180,000	活動物品購入 80,000 円、通信費 10,000 円、 バス研修会費 90,000 円
支出合計	532,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和5年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
市負担金	532,000	市協働事業負担金
収入合計	532,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
事業費	352,000	各種防犯啓発品購入
活動費	180,000	活動物品購入 80,000 円、通信費 10,000 円、バス研修会費 90,000 円
支出合計	532,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の3.4ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

【令和6年度】 ※実施したい協働事業に関する収支のみを詳細に明記ください。

収入の部

費目	金額(円)	内訳
市負担金	532,000	市協働事業負担金
収入合計	532,000	

支出の部

費目	金額(円)	内訳
事業費	352,000	各種防犯啓発品購入
活動費	180,000	活動物品購入 80,000 円、通信費 10,000 円、 バス研修会費 90,000 円
支出合計	532,000	

※収入合計と支出合計が、同じ金額になるように記入してください。

※収入、支出の費目は、募集要領の34ページ「収支予算書の費目の例」を参考に記入してください。

※行が不足する場合は追加してください。

令和3年4月1日

自己紹介シート

<p>団体の名称等</p>	<p>大和女性防犯会 【代表者の職名・氏名】会長 小菅 陽子</p>
<p>団体の住所</p>	<p>〒 242-0021 太和市中心 5-15-4 大和警察署生活安全課内</p>
<p>連絡担当者 及び連絡先</p>	<p>.....</p>
<p>ホームページ</p>	<p>なし</p>
<p>設立年月</p>	<p>平成 10年 4月 (法人格取得時期 平成 年 月)</p>
<p>設立の目的・ 経緯</p>	<p>平成10年、刑法犯罪の増加により予断を許さない情勢の下、地域ボランティアによる自主防犯活動が安全安心なまちづくりに欠かせないものとして認識されはじめた。 そして、様々な防犯ボランティアが活躍する中、女性が防犯活動に参加することにより、女性ならではのきめ細かい活動が期待され、必要不可欠と思われた。 そこで、大和・綾瀬地区防犯協会連合会と大和警察署長連名で大和市自治会連絡協議会をはじめ、関係各位に協力を求め結成されたものである。</p>

<p>主な活動地域</p>	<p>■ 大和市内を中心に活動 □ 市外を中心に活動 (活動地域：)</p>			
<p>活動内容と活動実績</p>	<p>女性防犯会は、大和警察署・大和市防犯協会・防犯指導員等と協力して、積極的に地域の防犯活動に参画し、犯罪のない明るく住み良い街づくりを推進することを目的とする。 本会は、目的を達成するため、次の活動を行う。 (1) 防犯キャンペーン及びパトロールの実施 (2) 防犯に関する座談会及び講演会の開催 (3) 防犯広報資料の作成及び配布 (4) 子どもの見守り活動、防犯協会の開催 (5) 高齢者の被害防止活動と指導 (6) その他の防犯活動への参加と情報の交換 防犯キャンペーン(毎月) 歓楽街パトロール(毎月) 年金支給日振り込め詐欺撲滅キャンペーン(隔月) ふれあい広場(4会場) ふるさとやまとフェスティバル(8月) その他 自治会行事、地域のお祭り等における防犯活動、防犯チラシポスティング</p>			
<p>会員数</p>	<p>.....1.5.....人</p>			
<p>過去に助成を受けた実績</p>	<p>支給団体名</p>	<p>年月</p>	<p>金額</p>	<p>内容</p>
<p>協働事業の実績 ※継続事業の場合のみ記載</p>	<p>市担当課名</p>	<p>年～年</p>	<p>負担金</p>	<p>内容</p>
	<p>生活あんしん課</p>	<p>平成22年～ 平成24年</p>	<p>329,000 329,000 329,000</p>	<p>みんなでつくる ろう安心のま ち事業</p>
	<p>生活あんしん課</p>	<p>平成25年～ 平成27年</p>	<p>329,000 329,000 329,000</p>	<p>みんなでつくる ろう安心のま ち事業</p>
	<p>生活あんしん課</p>	<p>平成28年～ 平成30年</p>	<p>329,000 329,000 329,000</p>	<p>みんなでつくる ろう安心のま ち事業</p>
	<p>生活あんしん課</p>	<p>令和元年～ 令和3年</p>	<p>532,000 532,000 532,000</p>	<p>みんなでつくる ろう安心のま ち事業</p>